

令和4年度 中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J）の実施状況について

I 実施スケジュール

日程概略

4月から5月まで	区市町村教育委員会・中学校向け説明会
7月 7日から	受験申込（9月6日まで） ※特別措置申込：7月7日から8月5日まで
11月12日	受験票交付
11月27日	本試日
11月27日から	予備日の申込み手続き開始（12月2日まで）
12月18日	予備日
1月12日	結果等の通知（11月27日実施分）
1月26日	結果等の通知（12月18日実施分）

II スピーキングテストの実施状況・結果

1 実施概要

(1) 申込者数

76,267人

(2) 受験者数

71,197人

(3) 会場

ア 11月27日

都立高校150会場 民間施設47会場

イ 12月18日

都立高校12会場 都有施設1会場

2 実施結果

(1) 平均スコア

60.5（令和3年度 53.7）

(2) 段階別評価の分布状況 ※（ ）は、令和3年度の数値

段階別評価	スコア	分布（%）
A	100～80	16.8（11.7）
B	79～65	25.6（20.3）
C	64～50	31.4（27.0）
D	49～35	16.9（23.9）
E	34～1	8.3（15.3）
F	0	0.9（1.9）

Ⅲ スピーキングテストの実施体制等

1 時程等

前後半で休憩時間を分離し、生徒同士の接触を防止するとともに、携帯電話を回収

時刻（時間）	内容	
12:15-13:00	会場到着・受験教室入室（前半・後半共通）	
13:00-14:05	前半試験実施	後半試験実施
	・受験者情報の登録 ・機器の装着準備 ・音声・録音確認 ・スピーキングテスト実施	待機
14:05-14:25	教室待機	休憩（トイレ）
14:25-15:30	休憩（トイレ）	・受験者情報の登録 ・機器の装着準備 ・音声・録音確認 ・スピーキングテスト実施
	待機	
15:30-15:40	机と椅子の除菌・退出（前半・後半共通）	
15:40	解散	

2 試験当日の運営体制等

(1) 運営体制

ア 都教育委員会

（ア）庁内において進行管理、問合せ等に対応

（イ）都職員を会場に派遣

イ 事業者

（ア）各会場を運営

（イ）問合せ窓口において、生徒からの連絡に対応

(2) 実施本部の設置

教育長を実施本部長とする「中学校英語スピーキングテスト実施本部」を設置

(3) 試験監督等の業務

ア 試験監督

事業者により実施

イ 警備

都教育委員会が警備会社に委託し、会場周辺の巡回等を実施

ウ 会場への道案内、生徒の携帯電話等通信機器に関する業務

都職員により実施

Ⅳ 採点等

1 採点者

高度な英語力と英語教育に関する専門性を有する者が、事前に本テストの採点に係る研修を受講し、基準を満たした者が採点

2 採点体制

情報管理を徹底した環境において、採点基準に従い、複数の専任者による採点・審査を経て評価しており、都教育委員会が、採点結果を確認

3 結果等の通知

(1) 提供内容

- ア ESAT-J GRADE
- イ 参考 CEFR レベル
- ウ スコア
- エ CAN-DO STATEMENTS
- オ 学習アドバイス
- カ 今後の学習参考資料

- ・設問ごとのそれぞれの評価に対応した複数の解答例
- ・英語力アップのためのアドバイス

※ア～ウは、マイページで閲覧が可能。ア～オは、発送されたスコアレポートに記載。

(2) 音声データの開示

3月以降の実施へ向けて日程と方法を調整中

V 実施結果の総括

1 申込者数に対する受験者数の割合

93.4% (受験者数 71,197人 / 申込者数 76,267人)

2 スコアの上昇

昨年度と比較して6.8ポイント上昇

- * 中学校における4技能の指導の成果
- 小中高校を通じた英語教育を一層強化

【令和5年度の新たな取組】

- (小学校) 「イングリッシュ・ウィーク」
- (中学校) 「1、2年生対象のスピーキングテスト」
- (高校) 「プレゼンテーションコンテスト」 など

3 都立高校志願者の状況

都内公立中学校3年生の都立高校全日制を志望する割合

令和4年度71.60% / 令和3年度71.19%

VI 今後の実施に向けて

1 スケジュール

(1) 申込、措置申請の手続

- ア 受験申込や特別措置、追試験等の日程や様式を説明会等で一括して提示し、生徒や保護者、中学校の教員が見通しをもって準備できるように配慮
- イ 予備日の申込手続を簡素化し、生徒や保護者、中学校の教員の負担を軽減
- ウ 特別措置等の申請に関する丁寧な説明により、都教委による承認手続を迅速化

(2) 会場や試験当日の日程等に関する通知

通知する時期を早め、生徒や中学校の事前の準備期間を確保

2 実施体制

(1) 受験環境

音声等に配慮し、生徒がより集中した環境で受験できる教室配置等

(2) 当日のコールセンターの対応

欠席等の連絡を受ける回線を増やすなどにより混雑を回避し、応答率を改善